

演劇を通して「いのち」を考える  
～殺処分ゼロを願った女子高生たちのプロジェクト舞台化～

- ・劇団銅鑼が、本年夏、農業高校の女子生徒たちが動物の殺処分ゼロを願って行ったプロジェクトを舞台化した『いのちの花』を上演
- ・実話をもとにした舞台
- ・来年以降の全国での上演も企画
- ・生活の中で見過ごしている動物たちの「いのち」について深く考え、向き合う機会となる

劇団銅鑼(東京都板橋区・代表佐藤文雄)では、本年夏、劇団のアトリエで、青森県立三本木農業高校の女子生徒たちが動物の殺処分ゼロを願って行ったプロジェクトを舞台化した『いのちの花』を上演する。農業高校の生徒たちが授業の一環として、犬や猫など引き取り手のないペットなどが殺処分される施設を見学、その骨を肥料とした花を育て「いのち」について考え動物の殺処分ゼロを訴えた実話をもとにした舞台である。

公募した小学生の舞台出演も企画されている。

脚本は青森県在住の劇作家畑澤聖悟、演出は青年座の齋藤理恵子が手掛ける。



タイトル：劇団銅鑼創立 45 周年記念公演第 2 弾 No.50『いのちの花』

原作／向井愛実著「いのちの花」(株式会社 WAVE 出版刊)

瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花

それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊)

公演日程：8月17日(木)～8月27日(日)

会場：銅鑼アトリエ 東武東上線上板橋駅徒歩 10 分

チケット：日時指定自由席

一般 4,500 円 板橋区民割引(板橋区在住・在勤・在学)4,050 円

25 歳以下 3,150 円 中学高校生 1,000 円 小学生 500 円

※障がい者の方で付添人が必要な方、お一人様ご招待

バリアフリーサービス：視覚障がい者／音声ガイド付き公演あり

聴覚障がい者／字幕付き公演あり

問合せ・チケット申込 劇団銅鑼 03-3937-1101(平日 10 時～18 時)

動物愛護センターで保護された猫と触れ合う



三本木農業高校で実習中



女性高校生を演じる劇団員。左より、宮藤希望・早坂聡美・北畠愛美・高原瑞季・和田星来。農業高校での見学にて。

【お問合せ・お申し込み】

**銅鑼**  
劇団

〒174-0064

東京都板橋区中台 1-1-4

TEL : 03-3937-1101

FAX : 03-3937-1103

e-mail

info@gekidandora.com

URL

http://www.gekidandora.com

担当：田辺素子